

特定非営利活動法人ラオスのこども 第9次中期計画 2023年7月～2026年6月

- 組織の理念 「ラオスのこども」は、公正で平和な社会づくりに貢献することを目的として、子どもたちが自らの力を伸ばし、人生を主体的に選択できるよう、日本とラオスの人々が協働しながら、読書に親しむ環境をつくります。
- 組織の活動の原則 「ラオスのこども」は、次のことを大切に活動します。
 - ・成長の原則 私たちは、自ら学び、自分の力を伸ばします。
 - ・自己決定の原則 私たちは、自ら考え、人生を主体的に選択します。
 - ・協調の原則 私たちは、他者と協調をしながら、自己実現を図ります。
 - ・平和の原則 私たちは、すべての人が平等で、公正な社会を作ります。

- I 今期の重点
- ・これまで手掛てき「読書推進事業」「出版事業」を着実に実施し、より質の高いものとします。
 - ・活動を支える募金調達力を東京事務所とラオス事務所で高め、自己資金の拡充に努めます。
 - ・この重点目標を達成するために、人材育成に取り組めます。
 - ・東京事務所とラオス事務所のより緊密な連携を構築します。
 - ・理事会は第9次中期計画終了前にこれまでの活動を総括し、活動存続の意義を明確化し、次の展望を形成します。

II 組織運営
■ 東京事務所

項目	戦略目標	指標	2023年度 2023年7月～2024年6月	2024年度 2024年7月～2025年6月	2025年度 2025年7月～2026年6月
1 組織運営	✓ これまでの理念・使命を継続し、NGOの倫理を保ちつつ、運営の質をより高める。	・次期中期計画の策定において、理念使命の確認がおこなわれる	・NGOの倫理を保ちつつ、運営の質をより高める	・NGOの倫理を保ちつつ、運営の質をより高める	・NGOの倫理を保ちつつ、運営の質をより高める ・次期中期計画の策定において、理念使命の再検討をおこなう
	✓ 東京事務所、ラオス事務所間で理念・使命の共有を高める。	・東京・ラオス間で会議が定期的実施される ・ラオス事務所が年次計画評価と次年度案策定に参加する ・次期中期計画の策定をおこなう	・東京・ラオス間で定期的に会議を実施し、記録される ・ラオス事務所が年次計画評価と次年度案策定に参加する ・中期計画を共有し、年次の評価活動をおこなう	・東京・ラオス間で定期的に会議を実施、記録される ・ラオス事務所が年次計画評価と次年度案策定に参加する ・理事会にて9次中期計画の中間および年次評価活動をおこなう	・東京・ラオス間で定期的に会議を実施、記録される ・ラオス事務所が年次計画および9次中期計画の総括、評価と次期の活動計画立案に参加する ・理事会にて9次中期計画年の総括、評価をおこない、次期の活動方針と体制について決する
	✓ 会員及び支援者の継続率を向上させる、新規支援者を獲得する。	・会員数が年10%ずつ増加する	・会員継続率を高め、新規支援者が増加し、寄付金収入が増額する	・会員継続率を高め、新規支援者が増加し、寄付金収入が増額する	・会員継続率を高め、新規支援者が増加し、寄付金収入が増額する
	✓ ブランド力を高め、支援者を増やす。	・活動実績を事業ごとにまとめ公表。広報ツールに用いる	・これまでの活動実績を和文・英語で事業ごとに公開する ・広報ツールに用いる	・事業活動を和文・英語でメディアにて公開する ・広報ツールに用いる	・事業活動を和文・英語でメディアにて公開する ・広報ツールに用いる
	✓ 対象に合わせたメディアにより広報力を強化する。	・通信 3回/年発行 ・HP 活動全体が伝わるようリニューアル ・ホームページリニューアル ・記事30本/年 ・英文情報を漸次掲載 ・ブログ記事 10本/年 ・Facebook記事90本/年 ・Instagram記事30回/年 ・Twitter記事 20回/年 ・新聞記事掲載 4回/年	・会員および支援者による継続支援のツールとして、「広報」活動を継続する。 ・デザインのリニューアルを実施。 ・リニューアルを準備する ・ニュースレター、年次報告書、HP、ブログ、FB、メールマガジンなどのコミュニケーションツールの対象（読者）に応じた発信活動がおこなわれる ・在外ラオス人に対する広報を検討する ・ストーリーを持つ企画で掲載を働きかける ・担当者とのコミュニケーションを大切に	・定期的な発刊 ・ホームページ記事が更新される ・ニュースレター、年次報告書、HP、ブログ、FB、メールマガジンなどのコミュニケーションツールの対象（読者）に応じた発信活動がおこなわれる ・在外ラオス人に対する広報をおこなう ・ストーリーを持つ企画で掲載を働きかける ・担当者とのコミュニケーションを大切に	・定期的な発刊 ・「広報」についてアンケート調査を実施。改善点を明らかにし、次期の活動計画に生かす ・ホームページ記事が更新される ・ニュースレター、年次報告書、HP、ブログ、FB、メールマガジンなどのコミュニケーションツールの対象（読者）に応じた発信活動がおこなわれる ・在外ラオス人に対する広報をおこなう ・ストーリーを持つ企画で掲載を働きかける ・担当者とのコミュニケーションを大切に
	✓ 人材の雇用	・次の体制を担う人材を雇用し、自己資金調達力を上げる	・非専従事務局長 ×1 ・専従スタッフ ×1 + 0.5 ・駐在スタッフ ×1	・専従事務局長候補 ×1 ・専従スタッフ ×1+ 1 ・駐在スタッフ ×1	・専従事務局長 ×1 ・専従スタッフ ×2 ・駐在スタッフ ×1
	✓ インターンの参加体制を整備し高める	・2名以上の継続的な参加 ・業務の明確化	・2名以上が継続的に参加する ・業務の明確化 ・イベントの担い手となる	・2名以上が継続的に参加する ・業務の明確化 ・イベントの担い手となる	・2名以上が継続的に参加する ・業務の明確化 ・イベントの担い手となる
2 事業運営	✓ 成果の継続と発展を重視しつつ、変化する現場の状況把握を深める	・現場のニーズを把握するモニタリングと評価が実施され、報告書にまとめられる ・年次報告書の発刊	・現場のモニタリングが実施され報告書にまとめられる ・年次報告書の発刊	・現場のモニタリングが実施され報告書にまとめられる ・年次報告書の発刊	・現場のモニタリングが実施され報告書にまとめられる ・年次報告書の発刊
	✓ 事業の評価指標が整備され、事業が適切にモニター、評価される	・年次計画評価を実施し、次年度案策定に反映する	・年次の評価を実施する	・年次の評価を実施する	・2025年度事業報告と2026年度の間報告に、ラオス事務所による評価を併せ、第10次中期計画につなげる
	✓ 専門家の助言を生かし、読書環境の充実に取り組むことで活動の質を高める	・専門家が事業活動に参加する	・出版・読書推進の専門家・活動家と連携し、プロジェクト運営の質を高める	・出版・読書推進の専門家・活動家と連携し、プロジェクト運営の質を高める	・専門家のアドバイスに基づき、事業の改善点を明らかにして、第10次中期計画につなげる
	✓ JICA事業	・着実に実施する	・着実に実施する	・着実に実施する	・着実に実施し、評価活動をおこない、次期事業に繋げる
3 資金調達	✓ 活動への賛同、共感を広げるための寄付メニューを整える	・寄付メニューを対象別に分かり易い内容に更新する	・対象別に分かり易い内容で構成し、広報に活用する。英語版を制作する	・社会情勢にあわせメニューを改定し、広報に活用する	・社会情勢にあわせメニューを改定し、広報に活用する

	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 賛助会員による寄付が増える ✓ マンスリーサポーター制度の定着・促進 ✓ 寄付金収入が増える ✓ 特別募金(夏&冬)を実施する ✓ 図書や物品の販売を強化する ✓ 書き損じはがき収集を実施する ✓ 在外ラオス人からの寄付 事業支援 ✓ 遺贈・相続財産の寄付 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員数が年5%増加する ・ヴィエンチャン県中等学校生徒を中心に支給 ・特別寄付(大口)を除き一般寄付額180万円を達成する ・ラオス語絵本プロジェクト参加者、書き損じキャンペーン寄付者の寄付がある ・年2回実施される ・物販イベントを開催 ・適切なカレンダー企画 ・ネット販売の強化 ・図書販売 ・年間250件、150万円を目標に、書き損じ葉書、未使用切手を収集 ・図書購入、図書寄付、ハクアン支援など ・遺贈・相続財産寄付件数・遺贈チラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員140名 ¥650,000円 キャンペーンを実施 ・書き損じキャンペーンラオス語絵本協力者への働きかけを継続 ・キャンペーンを実施 ・年2回の報告書をサポーターに送る。 ・180万円の寄付金がある ・120万円の寄付金がある ・ストーリー性を持つ内容とする ・チラシデザインが工夫される ・180万円を売り上げる ・サイトのリニューアル ・20万円を売り上げる ・150万円分収集する ・1件 200米ドルの寄付がある ・遺贈チラシ配布 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員150名 ¥700,000円 ・書き損じキャンペーンラオス語絵本協力者への働きかけを継続 ・キャンペーンを実施 ・年2回の報告書をサポーターに送る。 ・200万円の寄付金がある ・120万円の寄付金がある ・ストーリー性を持つ内容とする ・チラシデザインが工夫される ・190万円を売り上げる ・情報更新頻度を上げる ・20万円を売り上げる ・150万円分収集する ・3件 1000米ドルの寄付がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員160名 ¥750,000円 ・書き損じキャンペーン ラオス語絵本協力者への働きかけを継続 ・キャンペーンを実施 ・年2回の報告書をサポーターに送る。 ・220万円の寄付金がある ・120万円の寄付金がある ・ストーリー性を持つ内容とする ・チラシデザインが工夫される ・200万円を売り上げる ・20万円を売り上げる ・150万円分収集する ・8件 3000米ドルの寄付がある ・遺贈チラシ配布 1回
4 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 職員の能力を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な内容の研修に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な内容の研修に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な内容の研修に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な内容の研修に参加する

■ ラオス事務所

項目	戦略目標	2023年度 2023年7月～2024年6月	2024年度 2024年7月～2025年6月	2025年度 2025年7月～2026年6月
1 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業の実施において、事業立案、計画、評価活動のサイクルが実施される ✓ 活動理念・使命の共有が進む ✓ スタッフ会議、東京事務所との会議が定期的に開催される ✓ 運営・事業が適切にモニター、評価される ✓ 労務条件を明確にする ✓ 新規人材の雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況の振り返りが行われ、事業計画案と予算案の策定に反映される ・活動の意味が共有される ・スタッフ会議、東京事務所との会議を定期的に開催。各事業の進捗確認、振り返り、実施計画、調整、業務分担確認などがおこなわれる。会議議題を事前に交換する ・年2回ラオス事務所として評価をまとめる ・出退勤管理がおこなわれる ・新規人材の雇用 ・図書出版担当業務委託の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況の振り返りが行われ、事業計画案と予算案の策定に反映される ・活動の意味が共有される ・スタッフ会議、東京事務所との会議を定期的に開催。各事業の進捗確認、振り返り、実施計画、調整、業務分担確認などがおこなわれる。会議議題を事前に交換する ・年2回ラオス事務所として評価をまとめる ・出退勤管理がおこなわれる ・図書出版担当業務委託の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況の振り返りが行われ、事業計画案と予算案の策定に反映される ・第9次中期計画の振り返りが行われ、次期計画の策定に反映される ・活動の意味が共有される ・スタッフ会議、東京事務所との会議を定期的に開催。各事業の進捗確認、振り返り、実施計画、調整、業務分担確認などがおこなわれる。会議議題を事前に交換する ・年2回ラオス事務所として評価をまとめる ・出退勤管理がおこなわれる
2 事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「読書推進」「出版」の事業を着実に実施する ✓ 事業実施の前提となるラオス政府との覚書MoU・MoAで求められる要件を確実に実施する ✓ ヴィエンチャン県当局との連携をスムーズにおこなう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書推進」「出版」の事業を着実に実施し、年度末に評価活動をおこなう ・MoUに定められた報告書の提出、評価会議の開催、所轄庁への報告を確実に実行する ・ヴィエンチャン県・郡と連絡を密に保つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書推進」「出版」の事業を着実に実施し、年度末に評価活動をおこなう ・MoUに定められた報告書の提出、評価会議の開催、所轄庁への報告を確実に実行する ・ヴィエンチャン県・郡と連絡を密に保つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書推進」「出版」事業の評価を実施し、次期中期計画策定の基礎とする ・MoUに定められた報告書の提出、評価会議の開催、所轄庁への報告を確実に実行する ・ヴィエンチャン県・郡と連絡を密に保つ
3 資金調達	<ul style="list-style-type: none"> 〈図書の販売〉 ✓ 出版事業と連動した販売戦略をたてる ✓ NGO国際機関など販売先団体を開拓 〈受託事業〉 ✓ NGO国際機関などからの読書推進活動 業務委託を継続する ✓ SCGによる奨学金事業を受託する 	<ul style="list-style-type: none"> ・売れる本の開発・120万円を売上げる ・販売実績のデータを整理、分析する ・販売先を10か所増やす ・受託事業の資料を作成し、広報をおこなう ・事業を受託する 	<ul style="list-style-type: none"> ・150万円を売上げる ・販売先を10か所増やす ・受託事業の営業活動をおこなう ・事業を受託する 	<ul style="list-style-type: none"> ・150万円を売上げる ・販売先を10か所増やす ・受託事業の営業活動をおこなう ・事業を受託する
4 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 専門家の指導と協力を受けつつ、着実な人材育成に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館専門家によるOJTをおこなう ・専門家の指導により、出版プロセスを通しての実務研修をおこなう ・タイでの学校図書館の活動事例を視察するスタッフの研修を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館専門家によるOJTをおこなう ・専門家の指導により、出版プロセスを通しての実務研修をおこなう ・タイでの研修成果を、読書推進事業の実施において実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館専門家によるOJTをおこなう ・専門家の指導により、出版プロセスを通しての実務研修をおこなう ・研修及びその後の実践活動の評価をおこない、次期計画に生かす

III プロジェクト

項目	戦略目標	【資金】 指標	2023年度 2023年7月～2024年6月	2024年度 2024年7月～2025年6月	2025年度 2025年7月～2026年6月
1 読書推進	<p>〈中等学校図書室の役割拡充〉</p> <p>プロジェクト目標: 県教育スポーツ局主導で、図書活用を取り入れた中等学校教育改善の普及体制が構築される</p> <p>成果1: 学校図書室整備と持続的な運営体制の強化 成果2: 学校図書室の役割の拡充「読書の場」から「学習・情報センター」へ 成果3: 図書室維持発展のためのネットワークの構築 成果4: 図書室を活用した学校教育改善を県内で展開する体制の構築</p>	<p>【草の根技術協力事業(JICA)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴィエンチャン県サナカム郡・ムーン郡の8校で、図書室を整備。 <p>指標: 県教育スポーツ局がオーナーシップを発揮し、事業終了後もプロジェクトチームが活動を継続し、県内全域で活動が普及・定着する体制ができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームの結成とオリエンテーション会議実施 ・各学校の状況に合わせた図書室の整備 ・図書室の担当教員と生徒を対象に、図書室管理運営の基礎研修を実施 ・学校図書室運営計画策定のワークショップを開催 ・図書室応用研修の実施 ・「学校図書室交流大会」を各郡で実施 ・3か月に一度の割合でモニタリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション会議実施 ・各学校の状況に合わせた図書の補充 ・「図書活用アイデアシート」の蓄積 ・地域学習を実施し、図書室の授業での活用を広げる ・授業における図書活用事例集作成のための会議や研究授業を実施する ・「学校図書室交流大会」を各郡で実施 ・3か月に一度の割合でモニタリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション会議実施 ・各学校の状況に合わせた図書の補充 ・「図書活用アイデアシート」の蓄積 ・地域学習を実施し、図書室の授業での活用を広げる ・授業における図書活用事例集作成 ・事例集を配付し、教育指導官が実践のアドバイスをできるようにする ・「学校図書室交流大会」を2郡合同で実施 ・3か月に一度の割合でモニタリングを実施
	<p>〈学校図書室の整備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 既設置学校図書室を再活性化 ✓ 新規図書室の設置 	<p>【指定募金、企業、ベルマーク財団等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設置学校図書室のフォローアップが20-30か所で実施する ・各図書室において、図書室サービスが定期的かつ安定的に提供される。 ・各図書室で、VEDCとの連携が進む ・新規で18か所の図書室が整備される 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設置図書室の状況調査を10か所でおこない、必要なフォローアップ計画をたてる。(ヴィエンチャン都、ヴィエンチャン県、カムワン県を中心に実施。オンラインを併用) ・新規図書室を6か所で開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度調査した既設置図書室で必要なフォローアップを実施。 ・既設置図書室の状況調査を10か所でおこなう。 ・新規図書室を6か所で開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度調査した既設置図書室で必要なフォローアップを実施。 ・既設置図書室の状況調査を10か所でおこなう。 ・新規図書室を6か所で開設
	<p>〈ALC図書室活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ スタッフによる日常的な子どもたちに対する働きかけを継続 	<p>【指定募金、自己資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書の場に加え、子どもたちが主体的に参加するアクティビティなどが定期的に開催される。 ・配架や展示が工夫され、本に興味を沸かす空間が作られ、学校への手本となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規活動の企画・実施(1～2件)により既存の活動をより活性化させる ・スタッフによる「図書室配架・展示」の実践と、学校図書室へのアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規活動の企画・実施(1～2件) ・既存の活動をより活性化させる ・スタッフによる「図書室配架・展示」の実践と、学校図書室へのアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規活動の企画・実施(1～2件) ・既存の活動をより活性化させる ・スタッフによる「図書室配架・展示」の実践と、学校図書室へのアドバイス
2 出版	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 専門家のアドバイスを得て、質の高い書籍を出版する ✓ 出版担当者を設け、多様な本を計画的に出版できる体制をつくる ✓ 市場を意識した出版を企画する(図書販売と連動した出版計画) ✓ デジタル図書出版に対応するように取り組みを続ける 	<p>【指定募金・大学・企業など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊、再版を合わせて合計15タイトルの図書・紙芝居を出版 ・ラオス事務所の担当者が出版活動を担う ・資金調達とリンクさせる ・WEB上での図書紹介が具体化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・出版5タイトル(新刊1、再版4) ・出版担当者をラオス事務所で雇用する ・ニーズ調査の実施し、売れる図書を出版 ・展開の方針案を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・出版5タイトル(新刊2、再版3) ・専門家のアドバイスを得て、担当者を中心に、両事務所が協力し出版企画を作成する ・ニーズ調査の実施し、売れる図書を出版 ・展開の方針案を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・出版5タイトル(新刊2、再版3) ・担当者が出版企画を作成する ・ニーズ調査の実施し、売れる図書を出版。 ・WEB上で公開を開始する
3 子どもセンター	<ul style="list-style-type: none"> ✓ これまでに支援をした「子どもセンター」への支援は今期は休止する。 				
4 こども教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中等学校の生徒向けの奨学金支給事業を継続して実施 	<p>【サイアムセメントグループ(SCG)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SCGプログラムの受託継続 <p>【マンスリーサポーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA草の根事業を実施するヴィエンチャン県ムーン郡サナカム郡の8か所中等学校にて、奨学金プログラムを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託、実施の継続 ・1校あたり3～5名、合計24名～40名の生徒に対して奨学金の給付を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託、実施の継続 ・奨学金を給付を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託、実施の継続 ・奨学金を給付継続 ・モニタリング
5 日本国内事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各種イベント効果と効率を考えた選択的な主催と参加 ✓ 出前講座活動開発教育として実施 ✓ ラオス語絵本プロジェクト支援者拡大及び開発教育として実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の名簿登録者が3年間で300名増加する ・FBページフォロワー1800人獲得 ・学校を訪問したり、オンラインで実施する「出前講座」を継続実施 ・年間参加者70件を維持し、合計3000冊の絵本をラオスに届ける ・翻訳絵本リストを改訂し、新規絵本のタイトルを5冊追加する ・既存の翻訳シートの内容チェックをすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの主催と参加 ・新規名簿登録100名 ・FBページフォロワー1600人獲得 ・年間3～4件の出前講座を実施 ・年間参加者70件、1000冊の完成絵本をラオスに届ける ・追加する絵本を決定し、5冊翻訳し、翻訳絵本リストに追加する。 ・既存の翻訳シート25冊分をチェックする 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの主催と参加 ・新規名簿登録100名 ・FBページフォロワー1700人獲得 ・年間3～4件の出前講座を実施 ・年間参加者70件、1000冊の完成絵本をラオスに届ける ・準備中の翻訳を完成させる。 ・既存の翻訳シート25冊分をチェックする 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの主催と参加 ・新規名簿登録100名 ・FBページフォロワー1800人獲得 ・年間3～4件の出前講座を実施 ・年間参加者70件、1000冊の完成絵本をラオスに届ける ・既存の翻訳シート25冊分をチェックする